

業務部速報



No. 27

発行 25. 8. 4

JR東労組 業務部

「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」 申2号 に関する説明申し入れ(その2) 第2回団体交渉を行う! ②

【人事・賃金制度の見直し】

4. 出勤予備を廃止して、異常時での輸送力が確保できる根拠を明らかにすること。
5. 乗務員の予備交番のあり方を明らかにすること。また、臨時行路等の勤務操配の考え方を明らかにすること。

会社の考え方 説明内容のポイント

- ・ 駅、乗務業務の双方の不測の事態等にも柔軟に対応することを目的に予備勤務を見直す。
- ・ 同じ職場になるので、駅での突発への対応も可能になる。
- ・ 予備勤務で指定していた勤務については変形日勤等を配置し対応する。
- ・ 「変形日勤」の業務は、企画業務もあれば、突発対応で乗務することもある。現行と変わらない。
- ・ 臨時行路等の手配は、社員によって乗れる乗れないがある為、乗務可能な線区や車種で指定する。

6. フレックスタイム制を適用する場合において、半日単位の年休を取得する場合の始業時刻を変更する理由を明らかにすること。
15. フレックスタイム制におけるコアタイムを見直す理由を明らかにすること。

会社の考え方 説明内容のポイント

- ・ 勤務時間を7時間20分に統一するため、始業時刻を9時40分として扱う。
- ・ 両端に最低でも1時間程度のフレキシブル時間を設けるようコアタイムを見直す。

7. テクニカルリーダー職Aとテクニカルリーダー職Bの役割と業務内容等の違いを明らかにすること。
11. テクニカルリーダー職Bに昇職するための「選考審査」の内容を明らかにすること。

会社の考え方 説明内容のポイント

- ・ オペレーションの高度化と技術面での指導・人材育成に取り組む。
- ・ 技術力を上げて成果を出すことでテクニカルリーダー職Aになる。
- ・ 制度改正時は、主幹職Aを経験している方はテクニカルリーダー職Aへと考えている。
- ・ 主務職からの応募については、技術専任職の時と変わらず、論文と面接である。

8. フロンティアスタッフを新設する目的を明らかにすること。また、役割と業務内容等を明らかにすること。

会社の考え方 説明内容のポイント

- ・ 高度な専門性・技術力を最大限に発揮して新しい価値を生み出す役割を担う。
- ・ 研究開発センターや構造技術センター等に所属し、専門的な技術領域で研究開発等を担う。

③に続く